

平成 25 年外国人宿泊者数 “対前年比 80%増の過去最高 21 万人を記録”

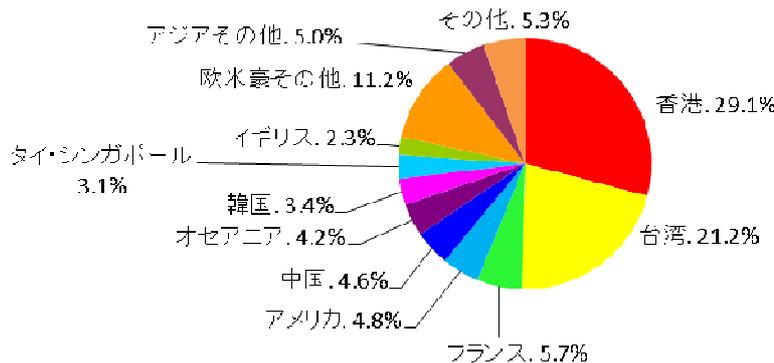
平成 25 年の本県への外国人宿泊者数（速報）は 211,754 人泊（対前年比 180.4%、平成 22 年比 157.1%）と過去最高を記録。日本全体の伸び率（対前年比 124.0%）を大幅に上回った。訪日外国人観光客が円高是正や放射能懸念の払拭により増加したことや県が市場毎に対象を明確にしたプロモーションを行った効果が表れた。市場別では香港、北米（アメリカ、カナダ）、イギリス、オセアニア、シンガポール、タイで過去最高を記録し、全市場で対前年比 130%を上回るという好結果となった。特に、市場別 1 位、2 位の香港、台湾が対前年比 192.3%、210.5%と好調だったことが数字を大きく押し上げる要因となった。

人泊

県内外国人宿泊者数推移



○国・地域別県内外国人宿泊者数のシェア



○国・地域別宿泊客数の推移

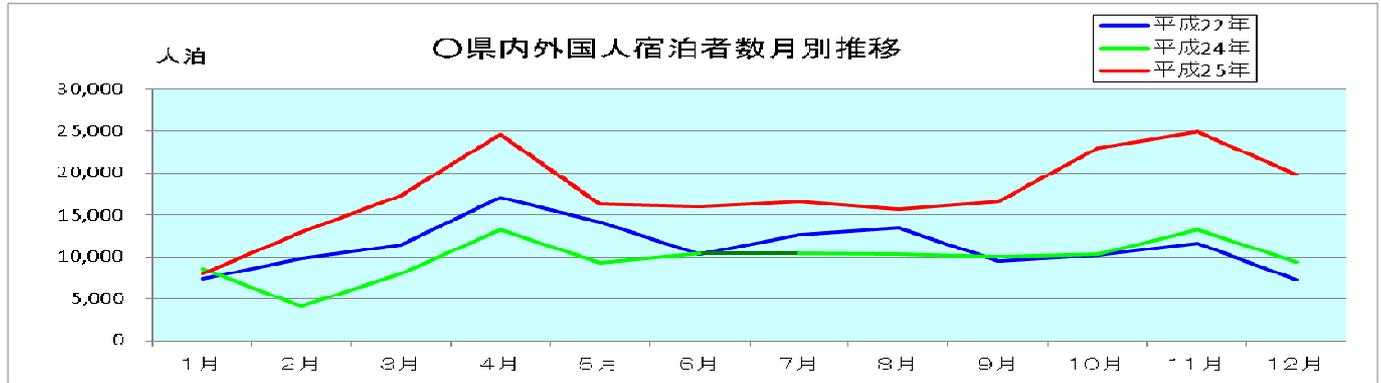
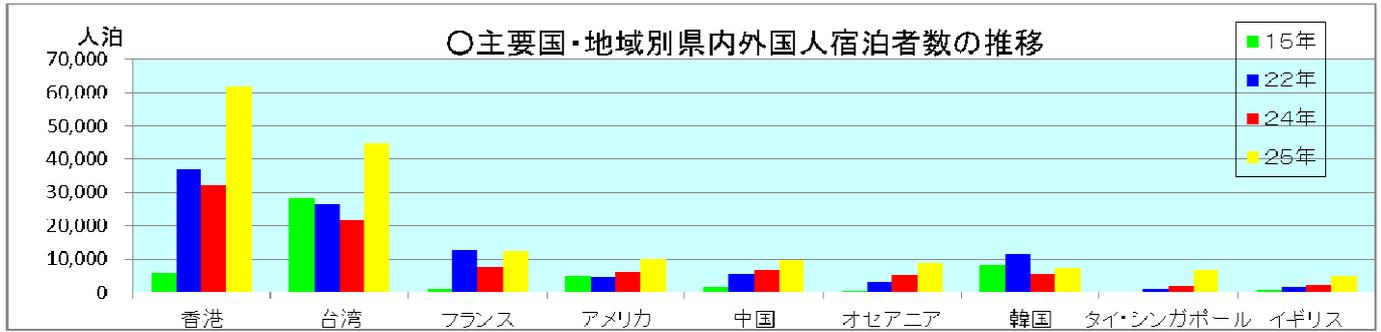
(単位: 人泊)

	アジア	(香港)	(台湾)	(中国)	(韓国)	(タイ・シンガポール)	欧米豪	(フランス)	(北米)	(オセアニア)	その他	合計
15年	45,737	5,858	28,327	1,829	8,046	0	12,671	1,139	5,456	601	2,875	61,283
22年	85,246	37,053	26,542	5,446	11,722	1,062	40,589	12,580	5,596	3,370	8,967	134,802
24年	71,953	32,104	21,368	6,657	5,476	1,958	37,185	7,682	7,631	5,215	8,221	117,359
25年	140,732	61,724	44,971	9,714	7,135	6,511	59,758	12,167	12,806	8,888	11,264	211,754
対前年比	195.6%	192.3%	210.5%	145.9%	130.3%	332.5%	160.7%	158.4%	167.8%	170.4%	137.0%	180.4%
シェア	66.5%	29.1%	21.2%	4.6%	3.4%	3.1%	28.2%	5.7%	6.0%	4.2%	5.3%	100.0%

○主要市町村別の宿泊客数

(単位: 人泊)

	平成22年		平成24年		平成25年		対前年		対平成22年	
	人数	シェア	人数	シェア	人数	シェア	増減数	比	増減数	比
白浜町	23,674	17.6%	29,133	24.8%	58,568	27.7%	29,435	201.0%	34,894	247.4%
高野町	41,946	31.1%	33,653	28.7%	51,840	24.5%	18,187	154.0%	9,894	123.6%
みなべ町	32,307	24.0%	18,989	16.2%	38,172	18.0%	19,183	201.0%	5,865	118.2%
那智勝浦町	20,159	15.0%	12,234	10.4%	24,197	11.4%	11,963	197.8%	4,038	120.0%
和歌山市	7,473	5.5%	14,772	12.6%	22,517	10.6%	7,745	152.4%	15,044	301.3%
串本町	4,655	3.5%	2,528	2.2%	7,267	3.4%	4,739	287.5%	2,612	156.1%
田辺市	2,510	1.9%	3,389	2.9%	5,480	2.6%	2,091	161.7%	2,970	218.3%
その他	2,078	1.5%	2,661	2.3%	3,713	1.8%	1,052	139.5%	1,635	178.7%
合計	134,802	100.0%	117,359	100.0%	211,754	100.0%	94,395	180.4%	76,952	157.1%



平成25年の特徴

アジア

香港：61,724人泊（対前年比192.3%）、台湾：44,971人泊（対前年比210.5%）

猫の駅長「たま駅長」人気、香港EGL社袁社長の和歌山県観光大使就任、和歌山県観光プロモーターの活動開始、現地旅行会社との共同広告、継続したプロモーションによる効果。

香港、台湾の急伸により白浜町、みなべ町の外国人宿泊者数がそれぞれ対前年比201.0%、201.0%と倍増。

東南アジア：シンガポール3,587人泊（対前年比267.1%）、タイ2,924人泊（対前年比475.4%）が過去最高を記録。ビザ緩和、円高是正に加え、東南アジア諸国連合観光連盟国際会議（ASEANTA）招致による現地旅行会社との関係強化、メディア露出による認知度アップが大幅増加の要因。なかでもタイはインセンティブツアー（報奨旅行）に狙いを定めたことが功奏。

欧米豪

フランス：12,167人泊（対前年比158.4%）、平成23年に震災前の20%にまで減少したがほぼ回復。

イギリス：4,823人泊（対前年比197.3%）、北米：12,806人泊（対前年比167.8%）、オセアニア：8,888人泊（対前年比170.4%）は過去最高を記録。

特に欧州からの観光客の高野山人気が高い。高野町への外国人宿泊者数は対前年比154.0%と好結果。

【参考】

訪日外客数 < JNTO発表 >

平成22年 8,611,175人

平成24年 8,358,105人

平成25年 10,363,904人（対前年比124.0%）（対22年比120.4%）（H25は暫定値）

初めて1,000万人を突破。円高の是正による旅行費用の割安感の浸透、7月より開始された東南アジア諸国の査証緩和の措置、継続的なVJ事業による訪日プロモーションの効果、LCCなどの新規就航等による航空座席供給量の増加などが2013年の訪日外客数を大きく増加させる要因となった。

担当 観光交流課 松下・櫻井

電話 073-441-2789